

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1357組：山本）（246組：飯塚）

使用教科書：（高等学校 現代の国語 第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の習得。

【思考力、判断力、表現力等】本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】複数の文章を比較して読み、熟意を持って自分の課題に取り組む。

科目 現代の国語 の目標：

| 【知識及び技能】                                | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--|---|
| 常用漢字の読み慣れ、主要な常用漢字を正しく文や文章の中で活用することができる。 | 接続詞をもとに論理の展開を的確にとらえ、本文の主張を読み解くことができる。論理的思考力を駆使して、自分の意見を書くことができる。 | 本文の主張を踏まえた上で自身の主張を述べることができる。学習課題に取り組み、自分の学習活動を改善しようとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容  | 領域   |   |   | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |   |
|-------------|--|--|---|---|------|---|---|---|----------|---|
|             |  | 話・聞  | 書 | 読 |      |   |   |   |          |   |
| 1<br>学期     | A 単元「水の東西」<br>【知識及び技能】<br>・具体と抽象の違いを理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・接続詞をもとに本文を読み解ける。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・本文の主張を踏まえた上で自身の主張を述べることができる。                                | ・指導事項<br>具体と抽象、対比<br>・一人1台端末の活用 等            |   |   | ○    |   |   |   |          | 7 |
|             | B 単元 言語活動「論理的な表現」<br>【知識及び技能】<br>・論理的な文章を検討する際に必要な要素を押さえる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・効果的な表現や資料の提示のしかたを考察できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・明快な文章の読解に興味をもつ。                       | ・指導事項<br>主張と根拠の関係性<br>・一人1台端末の活用 等           |   | ○ |      |   |   |   |          | 3 |
|             | 定期考査   |  |   |   |      |   |   |   |          | 1 |
|             | C 単元「羅生門」<br>【知識及び技能】<br>・常用漢字の読み書きをし、文章の中で使うことができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・内容に対する疑問等を自分の言葉で解釈し考えを深められる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・心情を読み取り学習に活かしている。                      | ・指導事項<br>問を立てて探究すること<br>・一人1台端末の活用 等         |   | ○ |      |   |   |   |          | 9 |
|             | D 単元 言語活動「情報の探索と選択」<br>【知識及び技能】<br>情報の妥当性や信頼性を正しく吟味する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。                | ・指導事項<br>情報の取捨選択、他者と共有すること<br>・一人1台端末の活用 等   |   | ○ |      |   |   |   |          | 5 |
| 定期考査        |  |  |   |   |      |   |   |   | 1        |   |
| 2<br>学期     | E 単元 言語活動「スピーチで自分を伝える」<br>「ピリオパトル」<br>【知識及び技能】<br>・話し言葉の特徴を知る。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・伝える態度と聴く態度の涵養。              | ・指導事項<br>他者に伝える際の注意事項、聴く姿勢<br>・一人1台端末の活用 等   |   | ○ |      |   |   |   |          | 4 |
|             | F 単元 無彩色の色<br>【知識及び技能】<br>・表現の特色をふまえて、日本の伝統としての色について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・論展開と根拠をもとに情報を読み解く。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・本文の主張を踏まえた上で自身の主張を述べることができる。                | ・指導事項<br>論が展開していく評論の読解のしかた<br>・一人1台端末の活用 等   |   | ○ |      |   |   |   |          | 8 |
|             | 定期考査   |  |   |   |      |   |   |   |          | 1 |
| 3<br>学期     | G 単元 「ロビンソンの人間と自然」<br>【知識及び技能】<br>・社会的な用語について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・対比をもとに筆者の主張を整理できる。<br>・社会的な事象について考えを深める。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・本文の主張を踏まえた上で自身の主張を述べることができる。 | ・指導事項<br>対比を基にした発展的な文章の整理<br>・一人1台端末の活用 等    |   | ○ |      |   |   |   |          | 8 |
|             | H 単元 夢十夜<br>【知識及び技能】<br>・常用漢字の読み書きをし、文章の中で使っている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・内容、展開を叙述をもとにとらえ、自分の言葉で表現することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。            | ・指導事項<br>既習事項と関連した小説の創作について<br>・一人1台端末の活用 等  |   | ○ |      |   |   |   |          | 8 |
| 定期考査        |  |  |   |   |      |   |   |   | 1        |   |
| 3<br>学期     | I 単元 「フェアな競争」<br>【知識及び技能】<br>・文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・経済について<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・本文の主張を踏まえた上で自身の主張を述べることができる。                          | ・指導事項<br>社会的な事象との関連<br>・一人1台端末の活用 等          |   | ○ |      |   |   |   |          | 8 |
|             | J 単元 「社会に対する意見文を書く」<br>【知識及び技能】<br>・常用漢字の読み書きをし、文章の中で使っている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・内容、展開を構成し叙述できている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。                 | ・指導事項<br>既習事項を活用した学習、1年間のまとめ<br>・一人1台端末の活用 等 |   | ○ |      |   |   |   |          | 5 |
| 定期考査        |  |  |   |   |      |   |   |   | 1        |   |
| 合計          |  |  |   |   |      |   |   |   | 70       |   |

高等学校 令和8年度（1学年用）教科

国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（2467組：山本）（135組：山崎）

使用教科書：（高等学校 言語文化 第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の習得。

【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。

科目 言語文化 の目標：

| 【知識及び技能】               | 【思考力、判断力、表現力等】                          | 【学びに向かう力、人間性等】                          |
|------------------------|---|---|
| 言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 | 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 | 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容   | 領域  |   |   | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|---|---|---|---|------|---|---|---|----------|
|             |   | 話   | 書 | 読 |      |   |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | A 単元『宇治拾遺物語』「児のそら寝」<br>【知識及び技能】<br>・歴史的仮名遣いや古文読解に必要な知識を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・文脈に沿って主語を判別できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・既存の知識や身に付けた知識を活用し、本文の内容を理解している。     | ・指導事項<br>歴史的仮名遣い、古文の学習、主語の判別<br>・一人1台端末の活用 等        |   |   | ○    |   |   |   | 7        |
|             | 定期考査  |   |   |   |      |   |   |   | 1        |
|             | B 単元『宇治拾遺物語』「絵仏師良秀」<br>【知識及び技能】<br>・古典を読むために必要な文法（動詞）について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・文脈を踏まえた語解について理解する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・これまでの学習を整理し、説話文学の特徴について理解している。    | ・指導事項<br>用言の活用、翻案作品について<br>・一人1台端末の活用 等             |   |   | ○    |   |   |   | 6        |
|             | 定期考査  |   |   |   |      |   |   |   | 1        |
| 2<br>学<br>期 | C 単元『伊勢物語』「茶川」<br>【知識及び技能】<br>・古典を読むために必要な文法（形容詞・形容動詞）について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・短歌の解釈を通して物語の深みに触れる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・歌物語の特徴について理解している。               | ・指導事項<br>用言の活用、歌物語<br>・一人1台端末の活用 等                  |   |   | ○    |   |   |   | 8        |
|             | 定期考査  |   |   |   |      |   |   |   | 1        |
|             | D 単元「ビプリオバトル」<br>【知識及び技能】<br>・近代以降の文章の特徴をまとめる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・近代以降の文章を読み、その特徴と効果について考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・ビプリオバトルで紹介された図書に興味を持ち、自ら読み解こうとしている。      | ・指導事項<br>現代の国語の発表をもとに、紹介された作品を読み比べる<br>・一人1台端末の活用 等 |   |   | ○    |   |   |   | 7        |
|             | E 単元『枕草子』、「はしたなきもの」<br>【知識及び技能】<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・随筆の特徴を理解し、当時と現代のもの見方、考え方を比較できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>日記と似た性質をもつ随筆について興味をもって学習に臨んでいる。                      | ・指導事項<br>助動詞について、随筆について<br>・一人1台端末の活用 等             |   |   | ○    |   |   |   | 5        |
| 定期考査        |   |   |   |   |      |   |   | 1 |          |
| 3<br>学<br>期 | F 単元「その子二十」「このころの戦」「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」<br>【知識及び技能】<br>・短歌の決まりや表現方法を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・短歌の構成、内容を表現からとらえる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・近代以降の短歌に興味を持って学習に臨んでいる。 | ・指導事項<br>近現代の短歌について解釈し、翻訳・翻案する<br>・一人1台端末の活用 等      |   |   | ○    |   |   |   | 10       |
|             | G 単元『平家物語』「木曾の最期」<br>【知識及び技能】<br>・敬語や軍記物語について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・登場人物の最期に対して叙述をもとに心情や状況をとらえている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・軍記物語という作品の性質をもとに、興味をもって学習に臨んでいる。  | ・指導事項<br>古文の敬語、軍記物語について<br>・一人1台端末の活用 等             |   |   | ○    |   |   |   | 10       |
|             | 定期考査  |   |   |   |      |   |   |   | 1        |
|             | H 単元「乾尾」「完璧」<br>【知識及び技能】<br>・漢文訓読のきまりを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・作品や文章の背景をふまえて、内容の解釈を深めている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。                   | ・指導事項<br>漢文の訓読方法、再読文字<br>・一人1台端末の活用 等               |   |   | ○    |   |   |   | 12       |
| 定期考査        |   |   |   |   |      |   |   | 1 |          |
| 合計          |   |   |   |   |      |   |   |   | 70       |



高等学校 令和8年度（1学年用）教科

地歴 科目 歴史総合

教科：地歴 科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1～4組：土井、5～7組：土田）

使用教科書：（『明解歴史総合』 帝国書院）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 歴史総合 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|--|--|
| 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、諸資料を活用し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを事象同士の関連性に着目して、多面的・多角的に考察し、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、自国や他国に対する理解を深める。 |

|             | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 思 態 |   |   | 配当<br>時数 |
|-------------|---|--|---|-------|---|---|----------|
|             |   |  |   | 知     | 思 | 態 |          |
| 1<br>学<br>期 | A 結びつく世界と日本の開国<br>歴史的な見方や考え方を活用しながら、18世紀のアジア諸国における特徴や、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、18世紀の世界について理解する。           | ・18世紀の東アジアにおける社会と経済<br>・貿易が結んだ世界と日本<br>・産業革命<br>・中国の開港と日本の開国   | 【知識・技能】<br>アジア諸国と欧米諸国との関係を理解し、工業化と世界市場の形成を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>アジア諸国と欧米諸国との関係を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>工業化と世界市場の形成について、課題を主体的に追究しようとしている。                        | ○     | ○ | ○ | 6        |
|             | B 国民国家と明治維新<br>18世紀以降の欧米の市民革命や、日本の明治維新や憲法制定などを基に、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。     | ・市民革命<br>・国民国家とナショナリズム   | 【知識・技能】<br>国民国家と立憲体制について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>国民国家と立憲体制について、課題を主体的に追究しようとしている。   | ○     | ○ | ○ | 7        |
|             | 定期考査  | 定期考査   |   | ○     | ○ |   | 1        |
|             | C 国民国家と明治維新<br>18世紀以降の欧米の市民革命や、日本の明治維新や憲法制定などを基に、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。     | ・明治維新<br>・日本の産業革命<br>・帝国主義<br>・変容する東アジアの国際秩序<br>・日露戦争と東アジアの変動  | 【知識・技能】<br>国民国家と立憲体制について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>国民国家と立憲体制について、課題を主体的に追究しようとしている。   | ○     | ○ | ○ | 7        |
| 2<br>学<br>期 | D 近代化と私たち<br>18世紀後半～19世紀の世界各国の人口動態や交通などを基に、産業革命が世界各国に及ぼした影響について、多面的・多角的に考察し表現することを通して、貿易と産業、人口などの関連性について理解する。 | ・交通と貿易<br>・産業と人口<br>・権利意識と政治参加、国民の義務<br>・学校教育<br>・労働と家族<br>・移民   | 【知識・技能】<br>18世紀後半～19世紀の世界各国の人口や交通について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>産業革命が19世紀の世界各国に及ぼした影響について多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>産業革命が19世紀の世界各国に及ぼした影響について、課題を主体的に追究しようとしている。         | ○     | ○ | ○ | 7        |
|             | 定期考査  |  |   | ○     | ○ |   | 1        |
|             | E 総力戦と社会運動<br>第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命の意味や影響、戦後の国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。       | ・第一次世界大戦の展開<br>・ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭<br>・ヴェルサイユ体制とワシントン体制<br>・世界経済の変容と日本<br>・アジアのナショナリズム<br>・大衆の政治参加と大衆文化               | 【知識・技能】<br>第一次世界大戦と国際社会について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>第一次世界大戦と国際社会について多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>第一次世界大戦と国際社会について、課題を主体的に追究しようとしている。                                     | ○     | ○ | ○ | 8        |
|             | 定期考査  |  |   | ○     | ○ |   | 1        |
| 3<br>学<br>期 | F 経済危機と第二次世界大戦<br>第一次世界大戦後の社会の変容と大衆社会の形成・社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し表現することを通して、大衆社会の形成と社会主義運動の広がりについて理解する。         | ・世界恐慌の時代<br>・ファシズムの伸長と共産主義<br>・日中戦争への道<br>・第二次世界大戦の展開と社会<br>・国際連合と国際経済体制<br>・占領と戦後改革<br>・冷戦と東アジア諸国の動向<br>・日本の独立と日米安全保障条約 | 【知識・技能】<br>国際情勢や第二次世界大戦の展開について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>各国の恐慌への対応や国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>国際社会の一員として、現代の課題との関わりを主体的に追究しようとしている。                       | ○     | ○ | ○ | 10       |
|             | 定期考査  |  |   | ○     | ○ |   | 1        |
|             | G 冷戦と世界経済<br>脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争の特徴などを多面的・多角的に考察し表現することを通して、国際政治の変容を理解すること。                             | ・冷戦下の地域紛争と脱植民地化<br>・東西両陣営の動向<br>・軍拡競争から緊張緩和へ<br>・地域連携の形成と展開<br>・計画経済とその波及<br>・日本の高度経済成長<br>・アジアの中の戦後日本                   | 【知識・技能】<br>脱植民地化とアジア・アフリカ諸国の地域紛争などを基に、国際政治の変容を理解すること。<br>【思考・判断・表現】<br>地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>冷戦下の国際情勢が現代に与えている影響について、主体的に追究しようとしている。 | ○     | ○ | ○ | 10       |
|             | 定期考査  |  |   | ○     | ○ |   | 1        |
| 合計          |   |  |   |       |   |   | 70       |

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

数学科 科目 数学 I

教科：数学科

科目：数学 I

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1, 2, 3組：鈴木 ）（ 4, 5, 6組：清水 ）（ 7組：小菅 ）

使用教科書：（ 「改訂版 高等学校 数学 I」 数研出版 ）

教科 数学科

の目標：

【知識及び技能】数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目 数学 I

の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|---|--|
| 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 | 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、簡潔明瞭的確に表現する力を身に付ける。 | 数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度と問題解決について評価・改善しようとする態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|-------------|---|---|--|---|---|---|------------------|
|             |   |   |  |   |   |   |                  |
| 1<br>学<br>期 | A 第1章 【数と式】<br>式と計算<br>【知識及び技能】<br>2次と3次の乗法公式及び因数分解の公式を使うことができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>式を多面的に捉えたり、適切に変形したりすることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>式を適切な形に変えようとしている。 | ・教科書 高等学校「数学 I」数研出版<br>・一人1 台端末の活用<br>・指導項目<br>整式のまとめ方について、展開と因数分解の定義<br>次数の下げ方とその利点など                          | 【知識・技能】<br>単項式と多項式の次数係数を正しく答えることができる。<br>多項式の演算ができる。<br>【思考・判断・表現】<br>分配法則に基づいて展開と因数分解ができる。多項式を因数分解された式で表すことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>因数分解を利用し、様々な問題を解くことができる。                       | ○ | ○ | ○ | 7                |
|             | B 第1章 【数と式】<br>実数<br>【知識及び技能】<br>実数が簡単な無理数の四則計算ができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>式を多面的に捉えたり、適切に変形したりすることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>数の拡張を知ろうとしている。                | ・教科書 高等学校「数学 I」数研出版<br>・一人1 台端末の活用<br>・指導項目<br>有理数、絶対値などの定義の確認<br>実数への拡張とその利点と必要性<br>循環小数の表し方<br>分母の有理化など、実数の変形 | 【知識・技能】<br>有理数と無理数の区別ができる。<br>循環小数を分数で表すことができる。<br>絶対値、根号の計算ができる。<br>【思考・判断・表現】<br>分数の分母を有理化し、式の値が求めやすい形で表すことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>対象式を基本対象式で表し、式の値を求めることができる。<br>2重根号を外すことができる。 | ○ | ○ | ○ | 7                |
|             | 定期考査  |   |  | ○ | ○ | ○ | 1                |
|             | C 第1章 【数と式】<br>1次不等式<br>【知識及び技能】<br>不等式の性質、1次不等式の解を求めることができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>1次不等式を解く方法を考察することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>1次不等式を問題解決に活用しようとする。       | ・教科書 高等学校「数学 I」数研出版<br>・一人1 台端末の活用<br>・指導項目<br>1次不等式の解き方<br>連立不等式の解き方<br>絶対値を含む方程式・不等式の解き方                      | 【知識・技能】<br>1次不等式を解くことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>1次不等式の解を数直線に表すことができる。また、連立不等式を解くことに活用することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>様々な問題の条件を不等式で表し、不等式を解くことで問題を考察し解くことができる。                              | ○ | ○ | ○ | 10               |
|             | D 第3章 2次関数<br>【知識及び技能】<br>2次関数の値の変化、グラフの特徴を理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>2次関数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>事象を数学的に捉え、問題を解決しようとしている。       | ・教科書 高等学校「数学 I」数研出版<br>・一人1 台端末の活用<br>・指導項目<br>関数とグラフの基本<br>2次関数のグラフ（平方完成と平行移動）                                 | 【知識・技能】<br>関数の定義を理解することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>2次関数のグラフを正しく描くことができる。<br>2次関数のグラフがどれだけ平行移動しているか答えられる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>様々な事象を関数で表し、問題解決に活用することができる。                                 | ○ | ○ | ○ | 10               |
| 定期考査        |   |   | ○  | ○ | ○ | 1 |                  |

|             |   |  |   |   |   |   |     |
|-------------|---|--|---|---|---|---|-----|
| 2<br>学<br>期 | E 第3章 2次関数<br>【知識及び技能】<br>2次関数の最大値や最小値を導くことができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>2次関数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>事象を数学的に捉え、問題を解決しようとしている。           | ・教科書 高等学校「数学Ⅰ」数研出版<br>・一人1台端末の活用<br>・指導項目<br>2次関数の最大・最小の求め方<br>2次関数の決定<br>2次不等式の解き方      | 【知識・技能】<br>2次関数のグラフの概形を式から判断することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>2次関数の定義域に対する地域を求め、最大値・最小値が求められる。<br>2次不等式をグラフを用いて解くことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>様々な問題（最大値・最小値問題など）の条件を関数で表し、グラフを用いて最大値や最小値を求めることができる。 | ○ | ○ | ○ | 17  |
|             | 定期考査  |  |   | ○ | ○ | ○ | 1   |
|             | F 第4章 図形と計量<br>三角比の定義と拡張<br>【知識及び技能】<br>鋭角の三角比を理解することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>要素間の関係を定理や公式として導くことができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>事象を数学的に捉え問題を解決しようとしている。       | ・教科書 高等学校「数学Ⅰ」数研出版<br>・一人1台端末の活用<br>・指導項目<br>三角比の定義<br>三角比の相互関係<br>正弦定理と余弦定理             | 【知識・技能】<br>三角比の値を求められる。<br>三角方程式、不等式の解法について理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>三角比の相互関係を用いて、問題を解くことができる。<br>正弦・余弦定理を問題解決に活用することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>空間図形の軽量問題を解くことができる。                             | ○ | ○ | ○ | 23  |
| 定期考査        |   |  | ○   | ○ | ○ | 1 |     |
| 3<br>学<br>期 | G 第2章 集合と命題<br>【知識及び技能】<br>集合と命題を理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>簡単な命題を証明することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>条件から結論までの証明を理解しようとしている。                                | ・教科書 高等学校「数学Ⅰ」数研出版<br>・一人1台端末の活用<br>・指導項目<br>集合と要素の定義と表し方<br>命題と条件からその証明<br>対偶法と背理法による証明 | 【知識・技能】<br>命題の真偽が判断できる。<br>【思考・判断・表現】<br>命題の逆・裏・対偶を述べることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>対偶命題を考えることにより、元の命題の真偽を判断することができる。   | ○ | ○ | ○ | 13  |
|             | H 第5章 データの分析<br>データの値と仮説検定の考え方<br>【知識及び技能】<br>データの代表値を理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>データを収集、分析、特徴を表現することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>主張の妥当性を判断し、批判的に考察しようとしている。 | ・教科書 高等学校「数学Ⅰ」数研出版<br>・一人1台端末の活用<br>・指導項目<br>データの整理<br>データの代表値<br>分散と標準偏差<br>仮説検定の考え方    | 【知識・技能】<br>データの代表値を理解し、その値を求められる。<br>【思考・判断・表現】<br>2つの事柄に関係があるか、相関係数を用いて判断することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>データの代表値を表計算ソフトを用いて、求めることができる。また問題解決のために、それらのデータを活用することができる。                         | ○ | ○ | ○ | 13  |
| 定期考査        |   |  | ○   | ○ | ○ | 1 |     |
| 合計          |   |  |   |   |   |   | 105 |

【知識及び技能】 数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|---|---|
| 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 | 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質を見つけ、論理的に考察する力や、不確実な事象から、確率の性質に基づいて、事象の起こりやすさを判断する力、そして、数学と人間の活動との関りから数学の構造を見出し、数理的に考察する力を身に付ける。 | 数学の良さを認識し、数学を活用しようとする態度と粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度から、問題解決に向けて、評価・改善しようとする態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 思 態 |   |   | 配当<br>時数 |
|-------------|--|---|---|-------|---|---|----------|
|             |  |   |   |       |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | A 第1章 【場合の数と確率】<br>【知識及び技能】<br>集合の要素の個数、数え上げの原則<br>順列と組合せの考え方と導出方法<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>場合の数を求める方法を多面的に考察する。<br>確率を求める方法を多面的に考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>様々な条件下で確率や期待値を下にして意思決定に活用する。 | ・教科書 高等学校「数学A」数研出版<br>・一人1台端末の活用<br>・指導項目<br>集合の要素の個数<br>場合の数<br>順列<br>組合せ  | 【知識・技能】<br>集合とは何かがわかる。<br>集合を正しく表現することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>2つの集合の和集合、共通集合を正しく表すことができる。<br>ド・モルガンの法則を用いることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>様々な順列の総数を求められる。                  | ○     | ○ | ○ | 9        |
|             | 定期考査   |   |   | ○     | ○ | ○ | 1        |
|             | B 第1章 【場合の数と確率】<br>【知識及び技能】<br>確率の定義とその基本性質<br>様々な条件下の確率の導出方法<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>確率を求める方法を多面的に考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>様々な条件下で確率や期待値を基にして意思決定に活用する。                              | ・教科書 高等学校「数学A」数研出版<br>・一人1台端末の活用<br>・指導項目<br>事象と確率<br>確率の基本性質<br>独立な試行と確率<br>条件付き確率<br>期待値  | 【知識・技能】<br>確率の基本定期な性質を理解することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>独立な試行の確率、反復試行の確率を求めることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>条件付き確率など、複雑な条件下における確率を求め、期待値を参考に意思決定することができる。                      | ○     | ○ | ○ | 13       |
| 定期考査        |  |   | ○   | ○     | ○ | 1 |          |
| 2<br>学<br>期 | C 第2章 【図形の性質】<br>【知識及び技能】<br>三角形の性質と円の性質<br>空間図形の性質<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>図形の新たな性質を見出し、論理的に考察する。<br>図形の性質や作図について、統一的・発展的に考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>図形の性質を見つけたり、与えられた条件の作図をすることができる。  | ・教科書 高等学校「数学A」数研出版<br>・一人1台端末の活用<br>・指導項目<br>三角形の辺の比<br>三角形の外心・内心・重心<br>チェバの定理・メネラウスの定理   | 【知識・技能】<br>三角形の内心や外心の定義を理解し、その点を図示することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>内心、外心の性質を用いて、求値問題を解くことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>チェバ・メネラウスの定理を活用し、求値問題を解くことができる。                          | ○     | ○ | ○ | 11       |
|             | 定期考査   |   |   | ○     | ○ | ○ | 1        |
|             | D 第2章 【図形の性質】<br>【知識及び技能】<br>三角形の性質と円の性質<br>空間図形の性質<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>図形の新たな性質を見出し、論理的に考察する。<br>図形の性質や作図について、統一的・発展的に考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>図形の性質を見つけたり、与えられた条件の作図をすることができる。  | ・教科書 高等学校「数学A」数研出版<br>・一人1台端末の活用<br>・指導項目<br>円に内接する四角形<br>円と直線<br>2つの円<br>作図  | 【知識・技能】<br>円の基本性質を理解することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>円周角の定理を用いて、円に内接する四角形の問題を解くことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>空間図形の問題に平面図形の知識を利用し、問題を解くことができる。                                 | ○     | ○ | ○ | 15       |
| 定期考査        |  |   | ○   | ○     | ○ | 1 |          |
| 3<br>学<br>期 | E 第3章 【数学と人間の活動】<br>【知識及び技能】<br>数量や図形と人間の活動との関り<br>数学と文化との関り<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>数量や図形に関する概念を発展させ、考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>目的に応じて、数学を活用することができる。                                  | ・教科書 高等学校「数学A」数研出版<br>・一人1台端末の活用<br>・指導項目<br>約数と倍数<br>素数と素因数分解<br>最大公約数・最小公倍数<br>整数の割り算<br>ユークリッドの互除法<br>1次不定方程式<br>記数法<br>座標の考え方 | 【知識・技能】<br>最大公約数、最小公倍数を求めることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>ユークリッドの互除法を用いて、大きい数どおしの最大公約数を求めることができる。<br>10進数を2進数で表すことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>ユークリッドの互除法を利用し、1次不定方程式を解くことができる。 | ○     | ○ | ○ | 17       |
|             | 定期考査   |   |   | ○     | ○ | ○ | 1        |

|    |
|----|
| 合計 |
| 70 |



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

理科 科目 生物基礎

教科：理科

科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1～6組：大竹）（7組：佐藤友）

使用教科書：（「生物基礎 新訂版」 実教出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 科学的調査方法を身に付ける。

科目 生物基礎 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】                                    |
|--|---|---|
| 日常生活や社会との関連を回りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 | 生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 | 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

|         | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---------|---|--|--|---|---|---|----------|
|         |   |  |  |   |   |   |          |
| 1<br>学期 | A 第1章 生物の特徴<br>【知識及び技能】<br>生物の多様性と共通性及び代謝について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>生物の共通性と多様性は、生物の進化の結果であることや、生物が利用するエネルギーが太陽光に由来することに気付く。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>顕微鏡観察の基本操作やスケッチの手法について理解を深める。                        | □教科書、および補助教材を利用した授業形式<br>生物には共通性と多様性<br>生命活動とエネルギーの関わり<br>細胞の生命活動とATP<br>呼吸や光合成とATP<br>酵素の特性<br>□実験・実習<br>顕微鏡観察及びスケッチ                        | 【知識・技能】<br>生物の共通性における細胞の構成とATPの合成と活用の仕組みについて理解している。<br>顕微鏡を正しい手順で使うことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>生物が多様でありながら共通性をもっていることを説明することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>代謝と酵素の関係に関心をもち、主体的に学習に取り組める。 | ○ | ○ | ○ | 11       |
|         | 定期考査  |  |  | ○ | ○ |   | 1        |
|         | B 第2章 遺伝子とそのはたらき<br>【知識及び技能】<br>遺伝情報を含む物質であるDNAの構造について理解する。<br>遺伝情報の複製と分配を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>遺伝情報の発現の過程について、その必要性を考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>実験・実習による器具や材料を適切に使用し、自身が立てた仮説を探究する。                  | □教科書、および補助教材を利用した授業形式<br>遺伝情報を含む物質-DNA、DNAの構造。遺伝情報の複製、遺伝情報の分配<br>遺伝情報とタンパク質、タンパク質の合成、分化した細胞の遺伝子発現、遺伝情報と遺伝子、ゲノム<br>□実習<br>コドン表を用いて遺伝暗号を解いてみる。 | 【知識・技能】<br>さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることを理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>塩基の相補性など、DNAの構造の特徴を見出すことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>遺伝情報の複製と分配に関心をもち、主体的に学習に取り組める。                                   | ○ | ○ | ○ | 11       |
| 定期考査    |   |  | ○  | ○ |   | 1 |          |
| 2<br>学期 | C 第3章 ヒトの体内環境の維持<br>【知識及び技能】<br>体内の情報伝達と調節、体内環境の維持のしくみ及び免疫について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>免疫のシステムについて理解し、医療との結びつきについて考える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>インターネットを利用した検索学習によって日常生活と学習内容の結びつきを発見する。                    | □教科書、および補助教材を利用した授業形式<br>ホルモンと自律神経のはたらき<br>自然免疫、適応免疫<br>□実習<br>インターネットを利用した検索学習  | 【知識・技能】<br>恒常性により、体内環境が保たれていることを理解させる。<br>【思考・判断・表現】<br>ヒトの体液濃度とホルモンの関係を説明することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>ヒトの身近な免疫疾患に関心をもち、主体的に学習に取り組める。  | ○ | ○ | ○ | 12       |
|         | 定期考査  |  |  | ○ | ○ |   | 1        |
|         | D 第4章 生物の多様性と生態系<br>生態系と生物の多様性<br>【知識及び技能】<br>世界各地には、多様なバイオームが成立していることを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>遷移の結果として森林へ変化する理由を考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>インターネットを利用した検索学習によって日本がなぜ多数のバイオームをもつ国であるかを発見する。            | □教科書、および補助教材を利用した授業形式<br>植生、植生の遷移<br>植生の分布とバイオーム<br>バイオームの成立<br>□実習<br>インターネットを利用した検索学習  | 【知識・技能】<br>植生は不変ではないことを理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>気温や降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立していることを説明することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>バイオームについて関心をもち、主体的に学習に取り組める。                                  | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 定期考査    |   |  | ○  | ○ |   | 1 |          |
| 3<br>学期 | E 生態系のバランスと保全<br>【知識及び技能】<br>生態系の成りたちを理解する。<br>生態系がもつ復元力について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>人間活動が生態系に及ぼす影響について及び、生態系の保全の重要性について考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>インターネットを利用した検索学習によって日本における生態系の取り組みについて調べ、その有用性を理解する。 | □教科書、および補助教材を利用した授業形式<br>生態系の成りたち、生態系と種多様性、生物どうしのつながり生態系のバランス、人間の活動と生態系、生態系の保全<br>□実習<br>インターネットを利用した検索学習                                    | 【知識・技能】<br>生態系のバランスについて理解する。<br>【思考・判断・表現】<br>生活排水の流入による生物の個体数と水質の変化のグラフをもとに、自然浄化のしくみを考察し、説明できる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生態系の保全の重要性について認識し、主体的に学習に取り組める。                            | ○ | ○ | ○ | 19       |
|         | 定期考査  |  |  | ○ | ○ |   | 1        |
|         |   |  |  |   |   |   | 合計       |
|         |   |  |  |   |   |   | 70       |

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組：酒井）（2組：酒井）（3組：酒井）（4組：柳澤）（5組：柳澤）（6組：横山）（7組：横山）

使用教科書：（現代高等保健体育 改訂版 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、現代社会と健康について理解する

【思考力、判断力、表現力等】 疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 個人及び社会生活における健康・安全に関する内容について科学的に思考・判断し、総合的に捉えることができるようにする

科目 保健 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>自他の健康課題を把握できている</li> <li>課題解決の方法を実践できる技能が定着している</li> <li>疾病予防の知識が理解できている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>疾病のリスク軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりについて科学的に思考できている</li> <li>事象を判断し総合的にとらえることができている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人の課題のみならず社会全体の課題としてとらえる視野が持っている</li> </ul> |

|         | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---------|---|--|--|---|---|---|----------|
| 1<br>学期 | 単元 『現代社会と健康』<br>個人・現代社会における健康問題の理解を深める。また、健康課題に関わる事象や情報から課題を発見し、解決方法を考え適切な方法を選択し表現することができるようにする。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方と成り立ち</li> <li>私たちの健康のすがた</li> <li>生活習慣病の予防と回復</li> <li>がんの原因と予防</li> <li>がんの治療と回復</li> <li>運動と健康</li> <li>食事と健康</li> <li>休養、睡眠と健康</li> <li>喫煙と健康</li> <li>飲酒と健康</li> </ul> | 【知識及び技能】<br>我が国の健康問題について、理解したことを言ったり書いたりしている。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>我が国の健康課題など、理解したことを整理し、道筋を立てて説明したり、ノートなどに記述したりしている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>我が国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12       |
|         | 期末考査  |  |  | ○ | ○ | ○ |          |
| 2<br>学期 | 単元 『現代社会と健康』<br>個人・現代社会における健康問題の理解を深める。また、健康課題に関わる事象や情報から課題を発見し、解決方法を考え適切な方法を選択し表現することができるようにする。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>薬物乱用と健康</li> <li>精神疾患の特徴</li> <li>精神疾患の予防</li> <li>精神疾患からの回復</li> <li>現代の感染症</li> <li>感染症の予防</li> <li>性感染症、エイズとその予防</li> <li>健康に関する意思決定、行動選択</li> <li>健康に関する環境づくり</li> </ul>      | 【知識及び技能】<br>我が国の健康問題について、理解したことを言ったり書いたりしている。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>我が国の健康課題など、理解したことを整理し、道筋を立てて説明したり、ノートなどに記述したりしている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>我が国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 13       |
|         | 期末考査  |  |  | ○ | ○ | ○ |          |
| 3<br>学期 | 単元 『安全な社会生活』<br>安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険の回避、傷害の悪化防止などの方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>事故の現状と発生要因</li> <li>安全な社会の形成</li> <li>交通における安全</li> <li>応急手当の意義とその基本</li> <li>日常的な応急手当</li> <li>心肺蘇生法</li> </ul>  | 【知識及び技能】<br>我が国の健康問題について、理解したことを言ったり書いたりしている。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>我が国の健康課題など、理解したことを整理し、道筋を立てて説明したり、ノートなどに記述したりしている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>我が国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10       |
|         | 期末考査  |  |  | ○ | ○ | ○ |          |
|         |   |  |  |   |   |   | 合計       |
|         |   |  |  |   |   |   | 35       |

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組：小林・酒井・横山）（2組：小林・酒井・横山）（3組：小林・酒井・横山）（4組：小林・酒井・横山）（5組：小林・酒井・横山）

使用教科書：（現代高等保健体育 改訂版 大修館書店）（6組：小林・酒井・横山）（7組：小林・酒井・横山）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】運動特性に応じた技能能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|---|---|
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。 | 運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|--|---|---|---|---|---|----------|
|             |  |   |   |   |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | A バレーボール(男子)<br>基本的な個人技能やルールを習得し<br>連係プレーや簡易ゲームができるよ<br>うになる               | ・オーバーハンドパス<br>・アンダーハンドパス<br>・サーブ<br>・パスゲーム<br>・トス&スパイク<br>・簡易ゲーム                | 【知識・技能】<br>役割に応じたボール操作や状況に応じたボール操作をゲームで行うことができた。<br>【思考・判断・表現】<br>よりよいマナーやプレーができ、安全に配慮し自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>安全に留意し、フェアプレーを大切にしようとしゲームができた。  | ○ | ○ | ○ | 7        |
|             | B サッカー(男子)<br>基本的な個人技能及び連係プレーを<br>習得し、また基本的なルールを理解<br>しゲームができるようになる        | ・ボールキャリー<br>・パス・トラップ<br>・ドリブル<br>・シュート<br>・1対1, 2対1, 3対2, 3対3…<br>・簡易ゲーム        | 【知識・技能】<br>安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>チームでの作戦を、話し合い、考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>安全に留意し、フェアプレーを大切にしようとしゲームができた。   | ○ | ○ | ○ | 7        |
|             | C アルティメット(女子)<br>基本的な個人技能とルールを身に付<br>けゲームができるようになる                         | ・キャッチ<br>・バックハンドスロー、フォアハンドスロー<br>・カーブスロー、アップサイドガンズスロー<br>・パス、ミート、キックアップ<br>・ゲーム | 【知識・技能】<br>安定したディスク操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>チームでの作戦を、話し合い、考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>安全に留意し、フェアプレーを大切にしようとしゲームができた。  | ○ | ○ | ○ | 7        |
|             | D バスケットボール(女子)<br>基本的な個人技能やルールを習得し<br>連係プレーやゲームができるよ<br>うになる               | ・ドリブル<br>・パス各種<br>(1対1、三角パス、フックパス)<br>・シュート(セツト・レイアップ)<br>・3対3<br>・ゲーム          | 【知識・技能】<br>安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>チームでの作戦を、話し合い、考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>安全に留意し、フェアプレーを大切にゲームができた。  | ○ | ○ | ○ | 7        |
|             | E 柔道<br>受け身を身に付け安全に練習が<br>できるよ<br>うなる                                      | ・礼法<br>・足さばき<br>・受け身(前・横・後ろ)<br>・前回り受け身<br>・支え釣り込み足<br>・出足払い                    | 【知識・技能】<br>武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称とそれらを身に付けるポイントを理解することができた。<br>【思考・判断・表現】<br>練習などから練習の成果や改善すべきポイントとその理由を伝え、課題解決に有効な練習を選択、実施できた。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>自他の課題に応じた練習方法を選択するなど、柔道の学習に主体的に取り組む伝統的な行動の仕方を大切にしようとし積極的に取り組むことができた。 | ○ | ○ | ○ |          |
|             | F 剣道<br>竹刀・防具の扱い、基本動作に習熟<br>し安全に練習ができるよ<br>うになる。                           | ・防具のつけ方<br>・構え<br>・素振り<br>面うち、胴打ち、籠手打ち<br>・足さばき                                 | 【知識・技能】<br>武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称とそれらを身に付けるポイントを理解することができた。<br>【思考・判断・表現】<br>練習などから練習の成果や改善すべきポイントとその理由を伝え、課題解決に有効な練習を選択、実施できた。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>自他の課題に応じた練習方法を選択するなど、柔道の学習に主体的に取り組む伝統的な行動の仕方を大切にしようとし積極的に取り組むことができた。 | ○ | ○ | ○ | 7        |
|             | G ダンス<br>基本の動作パターンに習熟する。   | ・基本姿勢<br>・各身体パーツの動かし方<br>(頭・首・胸・腰・肩・腕・手・<br>腿・脛・足)<br>・各身体パーツのコンビネーション          | 【知識・技能】<br>リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ることができた。<br>【思考・判断・表現】<br>学習した知識や技能を表現や作品制作に適用したり、応用したりすることができた。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>主体的に取り組む。役割を積極的に引き受け、グループ活動に貢献しようとするすることができた。   | ○ | ○ | ○ |          |
|             | H 水泳<br>クロール、平泳ぎのキック、スト<br>ローク、コンビネーションを再確認<br>する。                         | ・水中歩行<br>・バタ足<br>・クロールのストローク<br>・平泳ぎのキック<br>・平泳ぎのストローク<br>・コンビネーション             | 【知識・技能】<br>各種泳法を理解し、手足バランスを保ち長く又は早く泳ぐことができた。<br>【思考・判断・表現】<br>選択した泳法に浮いて、動きを分析し、良い点や修正点を指摘できた。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>安全に配慮し自他の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることができた。  | ○ | ○ | ○ | 6        |
|             | I 体ほぐし<br>・オリエンテーション<br>・体力を総合的に高める運動および<br>今後のスポーツの基礎となる走・跳・<br>投の各運動を行う。 | ・ストレッチング<br>・スタートダッシュ<br>・各種跳躍運動<br>・ハンドボール投げ<br>・体重を使った筋力トレーニング<br>(腕立て伏せ等)    | 【知識・技能】<br>各種の動作を行い、体の調子に気付いたり関わりあったりできた。<br>【思考・判断・表現】<br>各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。   | ○ | ○ | ○ | 6        |



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

外国語 科目 論理・表現 I

教科：外国語 科目：論理・表現 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1・2組：松本・郡山・市川）（3・4組：松本・市川・田村）（5・6組：松本・郡山・田村）（7組：市川・田村）

使用教科書：（FACTBOOK English Logic and Expression I New Edition 桐原書店）

教科 外国語

の目標：

- 【知識及び技能】英語によるコミュニケーション及び表現活動を行うための基礎となる知識やスキルを育成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】英語でコミュニケーション及び表現活動を行うために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】異文化や外国語に対する興味関心を高め、国際社会に役立つ人間性を育む。

科目 論理・表現 I

の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| 書くこと、話すことに重きを置いたコミュニケーション能力習得に向け、基礎となる文法の知識や技術を育成する。 | 文法ごとに場面設定を行い、最適な英語でコミュニケーションを行うために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。 | 様々な人とペアワークを行うことで、多様性への享受力を高めていくとともに、協動的に学びを進められる力を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容  | 領域   |   |          |          | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |   |   |
|-------------|--|--|---|----------|----------|------|---|---|---|------------------|---|---|
|             |  | 聞  | 読 | 話<br>〔や〕 | 話<br>〔発〕 |      |   |   |   |                  | 書 |   |
| 1<br>学<br>期 | A 単元Lesson 1<br>【知識及び技能】<br>取扱う文法項目について理解させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えることができるようにさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとする態度を養う。 | 希望を伝える、相談する、情報を共有する、話し合いをする、感想をブログに書く。<br>現在形、現在進行形を使い、今は～だ、いつも～する、今～している最中だと伝える。        | ○ | ○        | ○        | ○    | ○ | ○ | ○ | ○                | 5 |   |
|             | B 単元Lesson 2<br>【知識及び技能】<br>取扱う文法項目について理解させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えることができるようにさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとする態度を養う。 | 紹介文を書く、説明ををする、広告文を書く。<br>過去形、過去進行形、used to (do) を使い、あの時～だった、あの時～している最中だった、昔はよく～したものだ伝える。 |   | ○        |          | ○    | ○ | ○ | ○ | ○                | 6 |   |
|             | 定期考査   |  | ○ | ○        |          |      |   |   |   | ○                | ○ | 1 |
|             | C 単元Lesson 3<br>【知識及び技能】<br>取扱う文法項目について理解させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えることができるようにさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとする態度を養う。 | 紹介する、説明する、要望を伝える、決定する、パンフレットの文章を書く。<br>助動詞を用いて勧めたり、許可や禁止を伝える。                            | ○ | ○        | ○        | ○    | ○ | ○ | ○ | ○                | 6 |   |
|             | D 単元Lesson 4<br>【知識及び技能】<br>取扱う文法項目について理解させる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えることができるようにさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとする態度を養う。 | 情報を説明する、紹介文を書く、ポスターを作成する。<br>受動態を用い、ある国の地域の状況について説明し伝える。                                 |   | ○        |          | ○    | ○ | ○ | ○ | ○                | 6 |   |
| 定期考査        |  | ○  | ○ |          |          |      |   |   | ○ | ○                | 1 |   |



【知識及び技能】英語によるコミュニケーション及び表現活動を行うための基礎となる知識やスキルを育成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語でコミュニケーション及び表現活動を行うために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】異文化や外国語に対する興味関心を高め、国際社会に役立つ人間性を育む。

| 【知識及び技能】                                      | 【思考力、判断力、表現力等】                  | 【学びに向かう力、人間性等】             |
|---|---------------------------------|----------------------------|
| 4技能を活用した英語によるコミュニケーションを行うための基礎となる知識やスキルを育成する。 | 話す力や書く力など、コミュニケーションに必要な力を向上させる。 | 学習を通して異文化や外国語に対する興味関心を高める。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 領域   |   |              |              | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|---|---|--|---|--------------|--------------|------|---|---|---|------------------|
|   |   | 聞  | 読 | 話<br>「や<br>」 | 話<br>「発<br>」 |      |   |   |   |                  |
| 1<br>学<br>期   | A Lesson 1<br>【知識及び技能】<br>側注・脚注の語彙や、言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を養う。 | 【題材内容】<br>外国からの観光客に人気の体験型ツアーリズムを紹介するALTの話<br>【言語材料】<br>動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞＋動詞の原形<br>【言語の働き】<br>質問する、説明する、発表する<br>過去形・現在形・未来を表す表現／現在完了／現在進行形／命令文(レシビ)朝食の大切さ、理想的な朝食 | ○ | ○            | ○            | ○    | ○ | ○ | ○ | 9                |
|   | B Lesson 2<br>【知識及び技能】<br>側注・脚注の語彙や、言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を養う。 | 【題材内容】<br>生き物が光る理由や、その光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表。<br>【言語材料】<br>受け身、現在完了形、現在完了進行形<br>【言語の働き】<br>質問する、説明する、理由を述べる、発表する  | ○ | ○            | ○            | ○    | ○ | ○ | ○ | 10               |
|   | 定期考査  |  | ○ | ○            |              | ○    | ○ | ○ |   | 1                |
|   | C Lesson 3<br>【知識及び技能】<br>側注・脚注の語彙や、言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を養う。 | 【題材内容】<br>メジャーリーグでプレイする吉田選手インタビュー<br>【言語材料】<br>動名詞、不定詞、S+V+O [that節]<br>【言語の働き】<br>質問する、説明する、理由を述べる、助言する、紹介する、発表する   | ○ | ○            | ○            | ○    | ○ | ○ | ○ | 10               |
| D Lesson 4<br>【知識及び技能】<br>側注・脚注の語彙や、言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を養う。 | 【題材内容】<br>ミニチュア写真家、見立て作家である田中達也さんのインタビュー<br>【言語材料】<br>後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級<br>【言語の働き】<br>質問する、助言する、説明する、賛成する、理由を述べる  | ○  | ○ | ○            | ○            | ○    | ○ | ○ | 9 |                  |
| 定期考査  |   | ○  | ○ |              | ○            | ○    | ○ |   | 1 |                  |



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

情報 科目 情報 I

教科： 情報

科目： 情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： ( 青木 )

使用教科書： ( 「新編情報 I」東京書籍 )

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と情報を適切に扱うための基本的な論理や方法を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】必要な情報を主体的に収集・判断・処理を行い、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できるようにする

【学びに向かう力、人間性等】社会生活の中で情報が果たしている役割や影響を理解し、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

科目 情報 I の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|---|---|
| 情報を活用した問題の発見・解決等の方法や、社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的に理解し、情報を適切に活用するために必要な技能を身に付けている。 | 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな資質・能力の三つの柱に沿った情報活用能力の整理意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けている。 | 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けている。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知   | 思 | 態 | 配当<br>時数 |    |
|-------------|---|---|---|---|---|----------|----|
| 1<br>学<br>期 | A 情報社会の問題解決<br>【知識及び技能】<br>情報やメディアの特性、情報技術が社会に果たす役割や影響、問題解決の手法等を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>情報と情報技術を適切に活用し、効果的に問題を解決し、表現する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報モラルに配慮し、情報社会に主体的に参画しようとする態度を身に付ける。   | ○情報を学ぶ意義<br>○情報とメディアの特性<br>○問題解決の考え方<br>○問題と目標の明確化<br>○問題の整理と分析<br>○問題解決演習(IE図)<br>○仮説の作成<br>○法の重要性和意義<br>○個人情報とその保護<br>○サイバー犯罪<br>○情報セキュリティ  | 【知識及び技能】<br>情報やメディアの特性を理解し、情報技術を効果的に活用して問題の発見・解決を行える。情報に関する制度及びマナー等について、その背景を化学的にとらえ、理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>問題解決に必要な情報やメディアを見極め、メディアリテラシーを身に付け、情報の分析、評価、効果的な表現が行える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報に関する法規や制度及びマナーの意義を理解し、情報社会において個人の果たす役割や責任について考察できる。  | ○ | ○ | ○        | 23 |
|             | 定期考査  |   |   | ○ | ○ |          | 1  |
| 2<br>学<br>期 | B コミュニケーションと情報デザイン<br>【知識及び技能】<br>情報の科学的な見方・考え方を働かせ、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>目的に応じて受け手にわかりやすく伝える。そのために情報デザインの考えかたや方法を身に付ける。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報と情報技術を活用して、効果的なコミュニケーションを行う態度を身に付ける。   | ○デジタルデータ<br>○数のデジタル表現<br>○文字のデジタル表現<br>○音のデジタル表現<br>○画像のデジタル表現<br>○データ量の計算<br>○データの圧縮と誤り検出  | 【知識及び技能】<br>メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解できている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や手法を理解し表現する技能を身に付けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報デザインの違いによる社会に与える影響の違いを理解し、責任ある情報発信を行う態度が身に付いている。   | ○ | ○ | ○        | 13 |
|             | C 情報通信ネットワークとデータの活用<br>【知識及び技能】<br>情報の科学的な見方・考え方を働かせ、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>目的に応じて受け手にわかりやすく伝える。そのために情報デザインの考えかたや方法を身に付ける。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報と情報技術を活用して、効果的なコミュニケーションを行う態度を身に付ける。  | ○コンピュータの構成<br>○CPUによる演算のしくみ<br>○ソフトウェアとOS<br>○コンピュータネットワーク<br>○プロトコルとIP<br>○IPアドレス<br>○データ転送の仕組み<br>○情報システムとそのサービス<br>○データベース<br>○データの活用<br>○データ活用演習<br>○ネットワークでのセキュリティ<br>○暗号化の仕組み | 【知識及び技能】<br>情報通信ネットワークを利用した通信の仕組みや構築に関わる機器について理解している。身の回りにある情報システムについて理解している。データベースの役割を理解し必要性について意識している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>目的に応じた機器の選択ができるようになる。情報通信技術を使ったデータのやり取りについて、説明できる。未来の情報システムについて具体的にイメージすることが出来る。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>日常で利用している機器に興味をもち、主体的に活用しようとしている。情報システムを活用し、情報社会に主体的に参画しようとしている。  | ○ | ○ | ○        | 12 |
| 定期考査        |   |   | ○   | ○ |   | 1        |    |
| 3<br>学<br>期 | C コンピュータとプログラミング<br>【知識及び技能】<br>コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現、計算の方法について理解する。プログラムによって情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>アルゴリズムによる表現方法を身に付ける。モデル化とシミュレーションの考え方を問題の適切な解決方法を考える際に行えるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生活の中で使われているプログラムに目を向け、改善しようとするなど、情報社会に主体的に参画しようとする態度を育成する。 | ○アルゴリズム<br>○プログラミング演習(変数、データ型、演算子、関数など)   | 【知識及び技能】<br>コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータで情報の内部表現と計算に関する限界について理解できている。アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けられている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>社会や自然などにおける事象をモデル化・シミュレーションを行い、情報社会に主体的に参画しようとする態度を身に付ける。 | ○ | ○ | ○        | 19 |
|             | 定期考査  |   |   | ○ | ○ |          | 1  |
| 合計          |   |   |   |   |   | 70       |    |

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：鈴木）（2組：青木）（3組：土井）（4組：田村）（5組：林）（6組：横山）（7組：山本）

使用教科書：（東京都教育委員会「人間と社会」）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することが出来るようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、より良い社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| 学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を見つけている探究することの意義や価値を理解している | 実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方や考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している。 | 実社会や実生活の中から積極的に問いを見出し、主体的・協働的に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に活かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |    |
|-------------|--|--|---|---|---|---|----------|----|
|             |  |  |   |   |   |   |          |    |
| 1<br>学<br>期 | 道徳教育とキャリア教育を一体的に学習する。<br>自分を客観的に見つめ、分析し、判断・理解できる能力を育成する。<br>社会全般に興味を持ち、広い視野で判断を下せる能力を育成する。<br>社会の一員として、社会貢献できる資質を育成する。 | 校外学習<br>キャリア教育（職業理解）<br>同窓会講話<br>科目選択説明会<br>文理選択<br>SDGs（ユニクロ・服の力プロジェクト）「第4章役割と責任」<br>探究学習（マイナビ・locus program） | 授業への取り組み<br>「人間と社会」の意義を理解できた<br>グループワークにおいて積極的にコミュニケーションをとり、自主的、実践的に取り組んでいる<br>授業態度、出席状況、課題や提出物を基に総合的に評価する  | ○ | ○ | ○ | 12       |    |
| 2<br>学<br>期 | 道徳教育とキャリア教育を一体的に学習する。<br>自分を客観的に見つめ、分析し、判断・理解できる能力を育成する。<br>社会全般に興味を持ち、広い視野で判断を下せる能力を育成する。<br>社会の一員として、社会貢献できる資質を育成する。 | 文化祭準備<br>地域清掃活動<br>科目選択説明会<br>キャリア教育（プレゼンテーション・仕事選び）<br>ヤングケアラー<br>進路ガイダンス<br>探究学習（マイナビ・locus program）         | 授業への取り組み<br>「人間と社会」の意義を理解できたか<br>グループワークにおいて積極的にコミュニケーションをとり、自主的、実践的に取り組んでいる<br>授業態度、出席状況、課題や提出物を基に総合的に評価する | ○ | ○ | ○ | 13       |    |
| 3<br>学<br>期 | 道徳教育とキャリア教育を一体的に学習する。<br>自分を客観的に見つめ、分析し、判断・理解できる能力を育成する。<br>社会全般に興味を持ち、広い視野で判断を下せる能力を育成する。<br>社会の一員として、社会貢献できる資質を育成する。 | 「第10章お金の意義について考える」<br>進路ガイダンス<br>情報モラル教育（ライン安全教室）「第6章ネット時代」<br>探究学習（マイナビ・locus program）                        | 授業への取り組み<br>「人間と社会」の意義を理解できたか<br>グループワークにおいて積極的にコミュニケーションをとっている<br>授業態度、出席状況、課題や提出物を基に総合的に評価する              | ○ | ○ | ○ | 10       |    |
|             |  |  |   |   |   |   | 合計       |    |
|             |  |  |   |   |   |   |          | 35 |